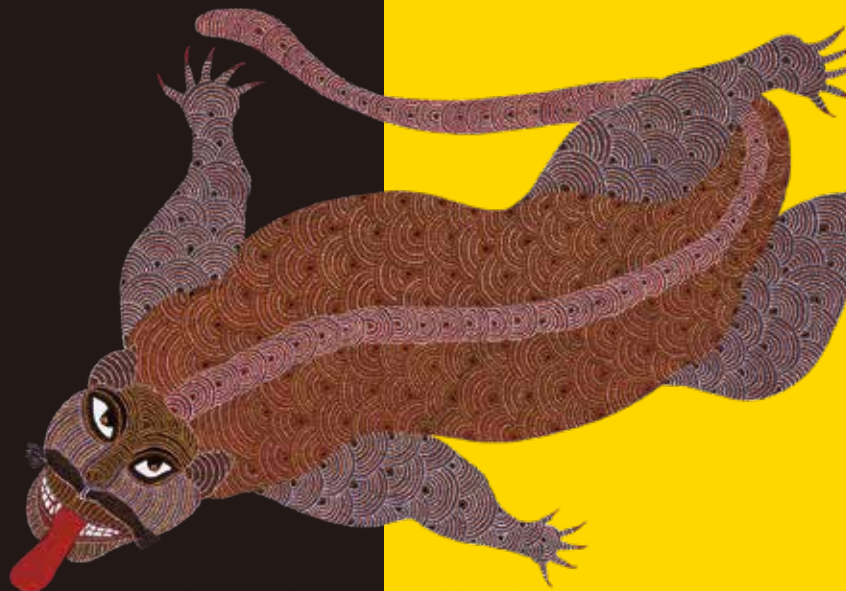
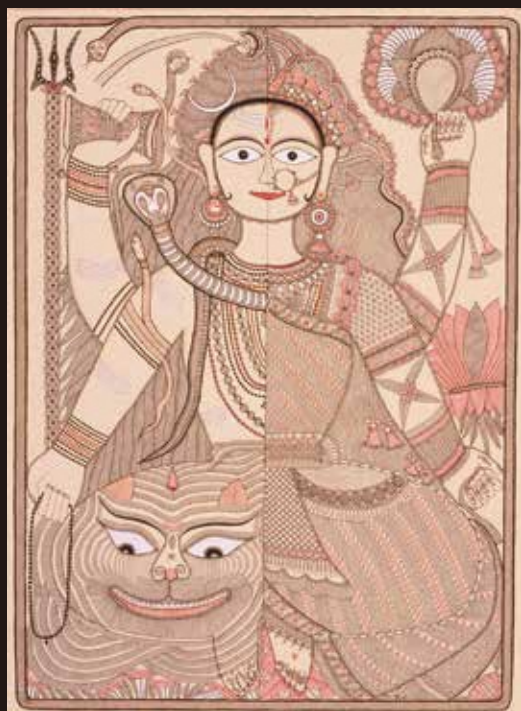




インド独立75周年記念
日印国交樹立70周年記念

ミティラー美術館 コレクション展 in 上越



2021.10.16 sat ----> 10.24 sun ※10/18は休館日

会場 ミュゼ雪小町 ギャラリー (あすとぴあ高田5階)

新潟県上越市本町5丁目4-5 えちごトキめき鉄道 高田駅より徒歩4分 Tel:025-521-4025

開場時間 10時~19時 (10/24は18時まで)

入場料 200円(高校生以下無料)

主催：ミティラー美術館

後援：上越市、(公財)日印協会、新潟日报社、株式会社上越タイムス社

応援：インド大使館

助成：新潟県文化芸術活動支援事業

問い合わせ：ミティラー美術館 (十日町市大池265 Tel:025-752-2396)



インド独立75周年記念 日印国交樹立70周年記念

ミティラー美術館コレクション展 in 上越

ミティラー美術館は、新潟県十日町市の雪深い森にある廃校になった旧大池小学校を利用し、1982年に設立された私立の美術館です。インドのミティラー地方において母から娘へと3000年にわたって伝承されてきた壁画であるミティラー画をはじめ、インド先住民ワルリー族が描くワルリー画や、5000年以上の歴史を持つテラコッタ(素焼きの陶器)などを数多く所蔵しています。インドのコスモロジーあふれる豊かな民族(俗)芸術を収集、常設展示しています。また、来日するインド人描き手の新たなアートの創造の場となり、その作品群はインド政府より質と量において世界に類がないものと高く評価されています。

2022年開館40周年を迎えるミティラー美術館のコレクションのうち、主要作品をはじめ近年制作された新作を含め、80点以上を公開します。



ゴダーワリー・ダッタ作
「両性具有のシヴァ」



ガンガー・デーヴィー作
「上弦の月を喰べる獅子」

展示関連講演会

会場・多目的室(展示会場の向かい)

10月17日(日) 14:45~15:30

「インドフォークアートの魅力」

長谷川時夫 ミティラー美術館館長

事前申込制/定員30名

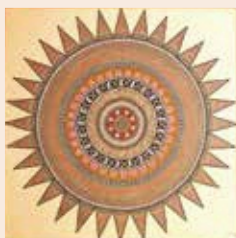
申込み ミティラー美術館(025-752-2396)

感染予防対策にご協力ください

- なるべく、少人数でのご来館をお願いいたします。
- マスクの着用をお願いいたします。
- 体温が37.5℃以上の方は入場をお断りしています。
(密集を避けるため、入場制限をさせていただく場合があります。)

ミティラー画

インドの東北部に位置するミティラー地方で、母から娘へと3000年にわたって伝承されてきた壁画。1967年から起った女性の自立のための美術運動により、インドとネパールにまたがるミティラー地方の絵画芸術として世界にその名を知られるようになった。



ゴダーワリー・ダッタ作
「チャクラ」

ワルリー画

インド西部のマハラシュトラ州ターナー県に居住する先住民族ワルリーによって描かれている壁画。米をすりつぶし水と混ぜただけの真っ白な絵の具と竹を削ったペンを用いて、赤土を塗った壁に描いていたものだが、1970年代から紙にも描かれるようになった。



ジヴァ・ソーマ・マーシェ作
「パールから生まれた娘」

ゴンド画

ゴンド画は、インド中央部マディヤ・プラデーシュ州一帯に居住する先住民族によって描かれる伝統的な民族画。独自の自然信仰を持つ民族が神への祈りの気持ちを表すために、村の儀礼や祭事の際に家の床や壁に描いていた絵が原点と言われている。



ジャンガル・シン・シュヤム作「虎」

テラコッタ(素焼きの陶器)

インドには、5000年以上におよぶテラコッタ制作の伝統がある。ミティラー美術館には1989年にインド政府から寄贈された109点の作品群のほか、日本の土と稲藁を使った、現地にはない新たな作品が所蔵されている。



ニラマニ・デーヴィー作「壺」

新潟県十日町市大池
周りを山々に囲まれ、少し小高い丘の上に美術館があります。

里山の自然豊かな四季を
楽しむことができるのも魅力の一つです。